



備後
Bingo

vol.7

2019年度
6-8月講座

大学連携講座

theme
テーマ | 備後で知る・考える・創造する

地域に開かれた大学の役割として、公開講座開催などのアウトリーチ活動の重要性が求められています。それは単に知識の伝達だけでなく、大学が地域の抱える問題の解決のために、直接市民のみなさんの声に耳を傾ける場でもあります。そのため備後地域の6大学が連携し、各大学の公開講座の情報を集約して発信していくことにしました。



福山大学



福山平成大学



福山職業能力開発
短期大学校



県立広島大学
(三原キャンパス)



福山市立大学



尾道市立大学

主催：6大学エクステンション連携会議
後援：備後圏域連携協議会

尾道市立大学

尾道文学談話会 (オムニバス形式のため、 講師は毎回異なります)	日本文学科を中心とした教員が、 文学や言葉に関わる様々な話題を 提供し、市民の皆様と談話形式で 講義を行う公開講座です。	6/3 (月), 7/1 (月) 8/5 (月) 18:30 ~ 20:00 参加無料・申込不要	尾道市立大学 サテライトスタジオ (尾道市土堂 1-8-5)	教養
尾道学入門 (オムニバス形式のため、 講師は毎回異なります)	「尾道」を切り口に尾道の歴史、 経済、言語、文学、美術を学んで いくことを目的としたオムニバス 形式の教養教育科目「尾道学入門」 を一般公開します。	6/6 (木), 7/4 (木) 8/1 (木) 9:00 ~ 10:30 参加無料・申込不要	尾道市立大学 E 棟 401 講義室	教養
街中ゼミ第 13 弾 『船とともに暮らす (海事編)』 (オムニバス形式のため、 発表者は毎回異なります)	尾道市立大学経済情報学部小川研 究室では、学生の研究成果の発表 および市民の皆様と学生ならびに 教員のディスカッションの場とし て、街中ゼミ第 13 弾『船とともに 暮らす (海事編)』を開催します。	6/21 (金), 7/19 (金) 8/16 (金), 9/20 (金) 18:00 ~ 20:00 参加無料・申込不要	尾道商業会議所 記念館 (尾道市土堂 1-8-8)	経営

県立広島大学

KJ 法を活用したワークショ ップを実践しよう 保健福祉学部 人間福祉学科 教授 田中 聡子	KJ 法はワークショップやブレイン ストーミングなどに応用され、広 く活用されています。特に社会調 査や地域診断、ワークショップ、 アンケートの項目づくり、業務改 善、リスクマネジメントなどにお いて多角的な面からの意見集約と 構造化に有効です。この講座では KJ 法の手法の基礎的な方法を学 び、実際にワークショップを体験 し、実践力を養うことを目的とし ます。	6/22 (土) 10:00 ~ 17:30 受講料 3,000 円 申込受付 6 月上旬頃まで 対象 KJ 法、ワークショップ に関心のある方 定員 先着 20 人	サテライトキャンパス ひろしま	福祉
家族支援の実践実技講座 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 大下 由美	家族構成員間での問題解決力を高 める支援の理論と技術についての 学習の機会を提供します。 本講座で学ぶ理論は、家族に限ら ず、小集団に対しても適用可能な 理論です。講座の内容は、理論的 学習と体験的学習とを組み合わせ ることで、より実践に生かせるよ う構成します。	7/7 (日), 7/14 (日) 10:00 ~ 16:00 7/21 (日), 7/28 (日) 10:00 ~ 16:00 受講料 8,200 円 申込受付 6 月中旬頃まで 対象 対人支援の専門家 定員 先着 10 人	県立広島大学 三原キャンパス (7/7, 7/14) 県立広島大学 広島キャンパス (7/21, 7/28)	福祉
地域包括ケア構築に向けた地 域への働きかけの留意点とそ の進め方 ～我が事、丸ごと、地域共 生社会の実現をめざして～ 保健福祉学部 人間福祉学科 助教 湯川 順子 教授 金子 努 講師 手島 洋	医療と介護の連携、地域との連携 についての現状と課題について解 説し、連携・協働による支援の展 開について、演習や事例検討を通 じて体験的に学ぶことで、対人援 助専門職のスキルアップを目指し ます。	7/13 (土) 13:00 ~ 16:10 7/14 (日) 9:20 ~ 16:40 受講料 6,200 円 申込受付 6 月中旬頃まで 対象 対人援助専門職 定員 先着 30 人	県立広島大学 三原キャンパス	福祉

県立広島大学

プレイバックシアター入門

保健福祉学部
作業療法学科
教授 吉川 ひろみ

プレイバックシアターは、語られた経験を即興で演じるものです。語った人（テラー）は、自分の物語が芝居として再現されるのを観ます。演じる人（アクター）は、語られた物語の中でのテラーの気持ちを想像しながら、即興劇を演じます。プレイバックシアターは、コミュニティ形成やコミュニケーションスキル向上に役立ちます。

7/20（土）
9：30～16：30
受講料 3,000円
申込受付
6月中旬頃まで
対象
病院や施設の職員
小中高大学の教員など
定員 先着 20人

県立広島大学
三原キャンパス

福祉

福山市立大学

私たちが歌う理由 ーコミュニケーション・ミュージカリティという視点からー

聖心女子大学
教授 今川 恭子

乳児を中心とした近年の学際的研究成果を紹介しつつ、人が音を通して自分を確かめ、他者と関係性を築き、文化を創造する存在であることについてお話しします。

6/8（土）
14:00～15:30
参加無料
定員 先着 200人

福山市立大学
大講義室

教育

暮らしを支える物流 ー都市物流計画の変遷と将来ー

流通経済大学流通情報学部
教授 苦瀬 博仁

コンビニには、毎日10台近くのトラックが商品運び、家では宅配便を受けとり、我々の生活は常に物流に支えられています。都市における物流について、今までの歴史とこれからの姿と計画のあり方について考えてみましょう。

7/6（土）
14:00～15:30
参加無料
定員 先着 200人

福山市立大学
大講義室

経済

子どもとその家族の生きづらさを理解しあえる社会の実現を目指し ー「コウノドリ」の現場から考える小児医療・保育・保健・療育・教育・福祉の連携ー

神奈川県立こども医療センター
新生児科部長 豊島 勝昭

周産期医療ドラマ「コウノドリ」の製作協力につながった、神奈川県立こども医療センターのブログ「頑張れ小さき命たち」。NICU卒業生とその家族が感じる「社会の中での生きづらさ」とは。早産や疾患があっても、子どもとその家族が笑顔で育っていける社会を実現するためには、小児医療・保育・保健・療育・教育・福祉を横断した情報共有・連携と支援が必要となり、そのネットワークは全ての子どもにとって「生きやすい」社会の構築につながるのではない。

8/10（土）
14:00～15:30
参加無料
定員 先着 200人

福山市立大学
大講義室

教育

福山職業能力開発短期大学校・福山大学・福山平成大学は後期チラシにて情報提供いたします。

お申込み または お問い合わせ先

○尾道市立大学

・尾道文学談話会

尾道市立大学地域総合センター TEL: 0848-22-8311 (代)

<http://www.onomichi-u.ac.jp/attributes/topics2014.html/2019030800014/>

・尾道学入門

尾道市立大学地域総合センター TEL: 0848-22-8311 (代)

<http://www.onomichi-u.ac.jp/attributes/topics2014.html/2019030700017/>

・街中ゼミ第 13 弾 『船とともに暮らす (海事編)』

尾道市立大学経済情報学部 小川研究室 TEL: 0848-22-8311 (代)

<http://www.onomichi-u.ac.jp/attributes/topics2014.html/2019030700024/>

○県立広島大学

・県立広島大学三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町 1-1 TEL: 0848-60-1200

E-mail: mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

○福山市立大学

・福山市立大学教育研究交流センター

申込みは, F A X または E メールで TEL: 084-999-1115 FAX: 084-928-1248 E-mail: koryu@fcu.ac.jp

【主催】

6 大学エクステンション連携会議 (事務局: 福山市立大学教育研究交流センター)

(尾道市立大学・県立広島大学・福山職業能力開発短期大学校・福山大学・福山平成大学・福山市立大学)

【後援】

備後圏域連携会議 (広島県福山市・三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町・岡山県笠岡市・井原市)